

授業改善プラン

地域名	南房総教育事務所	学校名	富津市立富津中学校
-----	----------	-----	-----------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

○本校生徒の数学の平均正答率は全国と比べて下回っている。無解答率については、短答式・記述式の問題では全国に比べ高い傾向が見られる。したがって、自ら思考したことを文章や数式として表す表現力に課題があると考えられる。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 集中して学習に取り組むことができる環境づくり
- 自分の知識や思考したことを表現する場の設定
- 生徒の実態に合わせた授業改善

3. 具体的な実践

- 小テストの点数をもとに、数学が得意な生徒と苦手な生徒の偏りが無い、男女混合の班を編成する。
- 单元ごとにまとめレポートを作成し、それらを班で見合うことで、より良い表現の方法を身につけさせる。
- ICT機器を用いた振り返りを行い、それらの結果から次回の授業の改善を図る。

4. 成果

- 班編成については、数学が得意な生徒と苦手な生徒が教え合う姿が見られ、自分の考えを記述する際に、普段手が止まってしまう生徒もどのように自分の考えを表現すればよいのかを考える機会になっていた。また、まとめレポートの作成については、教科書に書いてあることだけでなく、計算の考え方や過程などを補足する生徒が増え、表現力の向上につながった。

◆担当指導主事から（南房総教育事務所 指導主事 上代 博行）

- 学習の課題を生徒が選択して取り組むように複数の学習問題を準備するなど、主体的な学びを意識した授業展開が行われていた。話し合い活動での班編成や座席を配慮することで、多くの生徒が自分の考えを表すことができる環境が工夫されていた。